

# 感動県政 あさのめ 新聞

## 埼玉県議会活動報告 2018.08.15 vol. 61

発行 埼玉県議会 立憲・国民・無所属の会 さいたま市浦和区支部 〒330-0043さいたま市浦和区大東1-11-1-501

**特集号**  
 歳入・歳出の詳細は2〜3面に記載しました

埼玉県は8月10日、平成29年度(2017年度)の一般会計決算を発表しました。

歳入は、昨年度から2.9億円の増加となり、4億8,377万7千777円。構成の中軸となる県税が、納税義務者約6万人増加により約48億円の増加、また株価上昇基調で株式等譲渡所得の増加により58億円の増加となりました。

納税率は市町村の徴収対策の取り組みにより、7年連続で上昇し、97.8%と過去最高を更新しました。

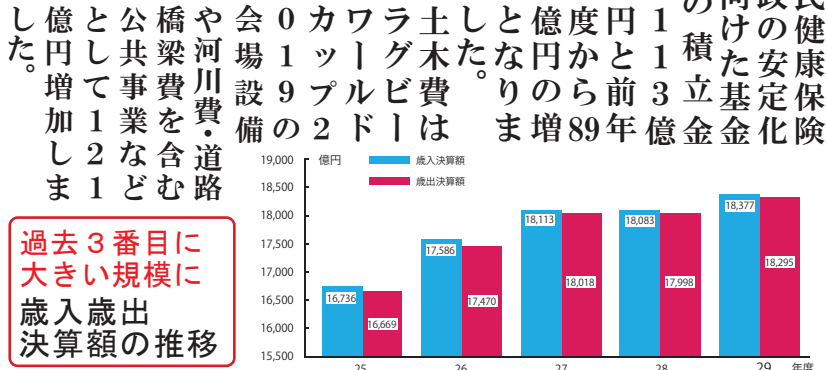
歳出は、昨年度から2.97億円の増加となり、4億8,295億9,000円。民生費は医療、介護など社会保険関連経費が13.1億円の増加しました。

### 2017(平成29)年度埼玉県決算ポイント ※( )は対前年度比

◎ 歳入・歳出は約1兆8千3百億円で、平成10年度、11年度に次いで過去3番目に大きい規模

歳入総額	1兆8,377億円(+294億円 +1.6%)
歳出総額	1兆8,295億円(+297億円 +1.6%)

## 平成29年度埼玉県決算発表



**熱中症予防 5つのポイント**

- 高齢者はエアコンを上手に使う
- 暑くなる日は要注意
- 水分はこまめに補給
- 「おかしい!？」と思ったら病院へ
- 周りの人にも気配りを

**✓記録的な猛暑続く**

7月23日午後2時過ぎ、大暑の日、埼玉県熊谷市で国内の観測史上歴代1位の41度1分を記録しました。

埼玉市内の7月中の猛暑日(最高気温が35℃以上の日)は13日間でした。昨年7月が1日だけだったことを考えると、今年の埼玉県の7月は異常な暑さであったことがわかります。

こうしたことから、今年も例年を超えるペースで熱中症により救急搬送される方が多くなっています。県では熱中症予防対策として、「5つのポイント」を活用した啓発のほか、熱中症発生時の危険が高い日には各市町村にメールを一斉配信し、各地の防災無線や広報車などで注意喚起が行われるようにしています。

また、「まちのクールオアシス」として県内約7600施設(平成30年

熱中症による救急搬送者数と死者数

年度	搬送人数	死者	年度	搬送人数	死者
H21年	674	0	26年	2,993	2
22年	3,819	19	27年	3,907	9
23年	3,441	4	28年	2,575	4
24年	2,943	7	29年	2,802	2
25年	3,556	4	30年	5,058	13

8月現在( )に協力いただき、街なかの一時的な避難所として利用できるようなっています。是非、5つのポイントに留意するとともに、家族や御近所でも気を配って、熱中症を予防して下さい。

## 日本歴代1位 熊谷で41度1分観測



【議会活動の報告をすることは当然の義務です】埼玉会館で、「第15回あさのめ県政報告会」を開催しました。

## あさのめ 活動報告 2018.6月~



【流れゆく時代。被爆の記憶を次世代へ継承する】埼玉県原爆死没者慰霊式に参列しました。埼玉県にも原爆被爆者は少なくない数いらっしゃいます。今年亡くなられた76柱が加えられ、1529柱の原爆死没者名簿が奉納されました。被爆者健康手帳の所持者は、県内に1792人。



テレ玉『こんにちは県議会です 各会派代表者に聞く』に出演。埼玉県議会、埼玉県政、時代認識などについて、お話しをさせて頂きました。



狭山茶の試飲会に参加しました。県でも二番茶を活用した抹茶の研究を始めているようです。



北は北海道宗谷岬から南は沖縄までを、自転車でまたがりリレー形式で縦走しながら、平和を訴える青年たち。埼玉県庁に訪ねられました。



各会派代表者と『議会改革の推進を求める要望書』を議長に提出しました。



上田知事へ『要望書』を提出しました。



今年も、うらわおどりに参加しました。



虐待死は高い水準で推移しています。悲惨な児童虐待を根絶するために、先立ち、新潟市航空産業立地推進室を調査しました。



「アジアを代表する最先端の航空機エンジン事業の拠点」が巨大なスケールで、埼玉県に整備されます。先立ち、新潟市航空産業立地推進室を調査しました。



【5か月も経ちやっとこさ 世界の二人に彩の国功労賞】設楽悠太選手(マラソン男子日本記録保持者)、村岡桃佳選手(平昌冬季五輪で5個のメダル獲得)に、県議会各会派代表でお祝いしました。

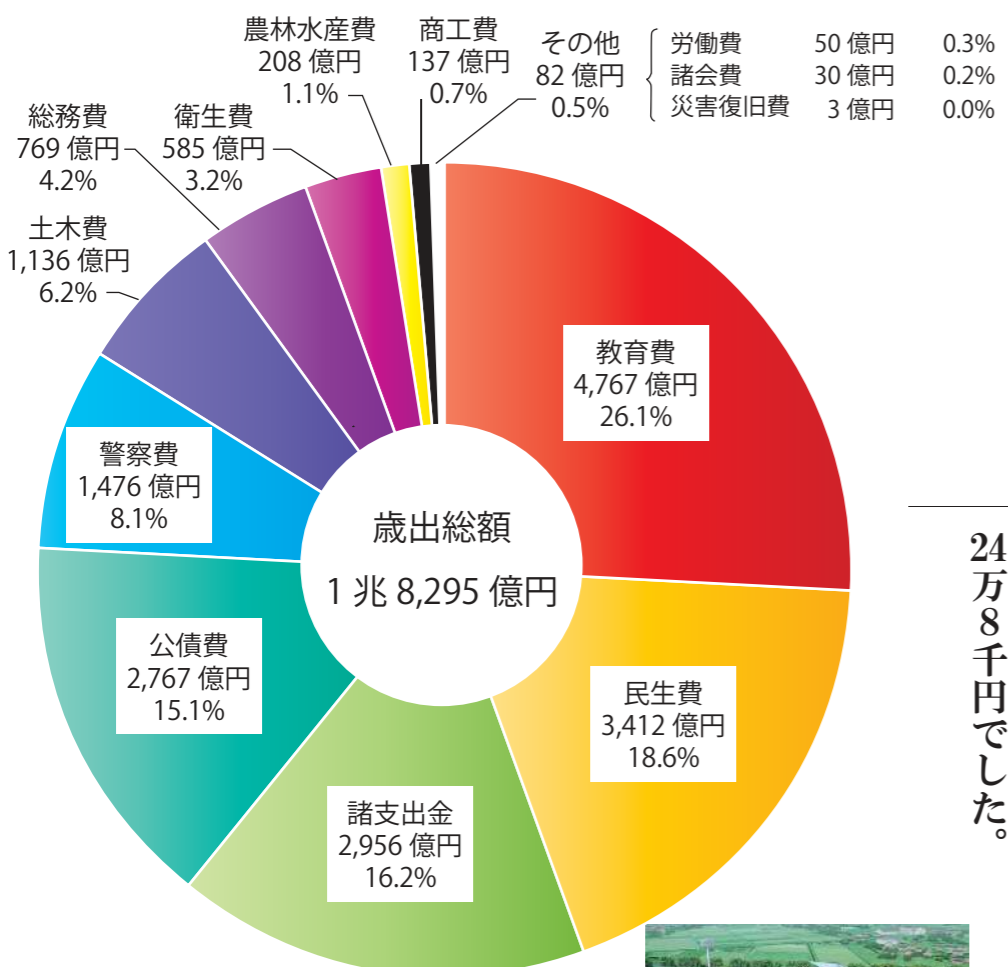


**浅野目 義英 プロフィール**

1958年5月27日東京生まれ。山形県米沢市育ち。法政大学社会学部卒。小学校教員を経る。さいたま市隣接の上尾市で全国最年少の25歳で市議初当選。地縁血縁の無い中で市議連続4期当選(25~41歳)。1995年、37歳で全国最年少議長。上尾市長選挙次点敗退。予備校講師、鮪井屋でひたすらマグロを切る仕事、武正公一代議士政策秘書など、政治浪人7年余を経る。2007年、埼玉県議会議員トップで初当選。2015年、埼玉県議会議員トップで3期目当選。埼玉県庁の中に6,400㎡の緑の広場をつくらせる、全盲の中学校教師を現場に戻す、硫黄島から帰還するご遺骨を人間航空基地で知事に出迎えをさせるなど、必ず成果を上げる実力派県議として知られる。2018年、立憲・国民・無所属の会代表。

埼玉県議会 あさのめ事務所  
 〒330-0043 さいたま市浦和区大東 1-11-1-501  
 TEL048-883-6560 FAX048-881-0527  
 y-asanome@gikai.pref.saitama.jp  
 www.asanome.com  
 【浅野目義英】【埼玉県議会議員浅野目義英】

### 款別歳出の構成



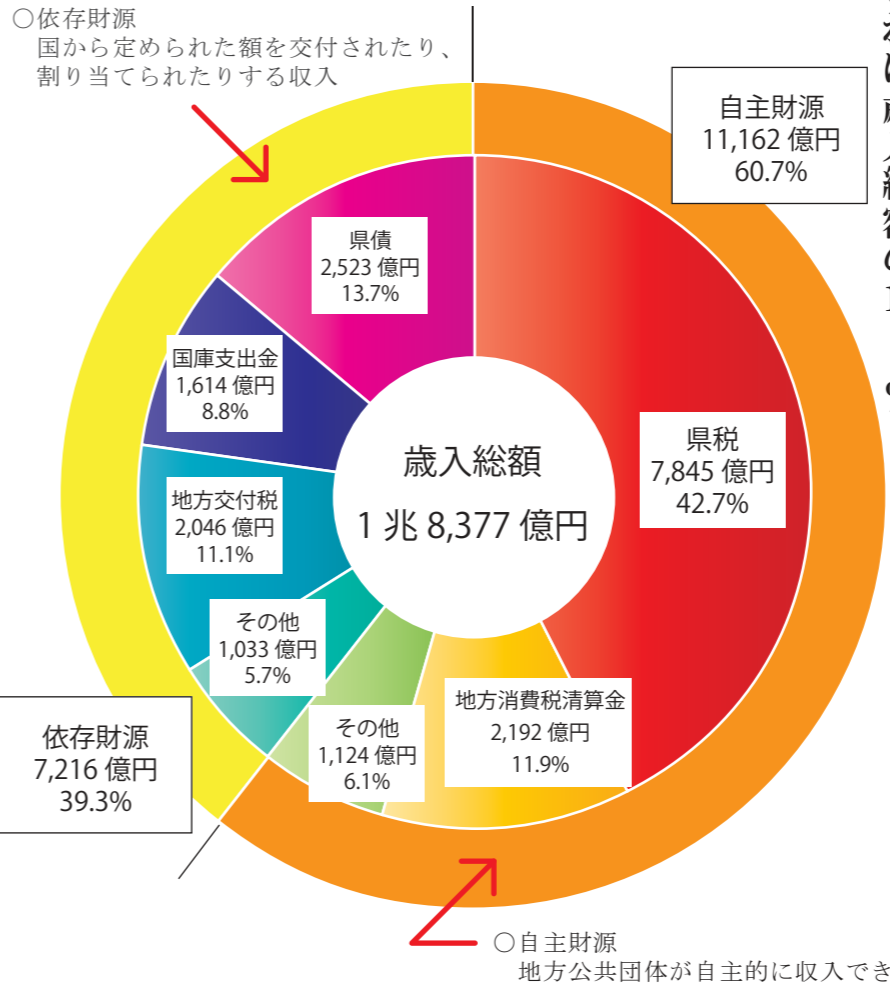
ラグビーワールドカップ2019に向けて整備が進む「熊谷ラグビー場」

(参考) 県民一人当たりの歳出額 約24万8千円  
 ・教育費 約6万5千円  
 ・民生費 約4万6千円  
 ・諸支出額 約4万円  
 ・公債費 約3万8千円  
 ・警察費 約2万円

■「款別歳出の構成」  
 歳出では、歳出総額の約26%を占める教育費が、教職員給与費などの負担事務をさいたま市に移譲したことなどにより、471億円減少し、4,767億円となりました。  
 民生費は、高齢化による介護保険給付費の増加などにより3,412億円となり、歳出総額の18.6%を占めました。

警察費は、大宮警察署や岩槻警察署庁舎の建設などにより68億円増加し1,476億円に、土木費はラグビーワールドカップ2019の会場となる熊谷ラグビー場整備や公共事業の増加などにより12億1,136億円となりました。  
 県民一人当たりの歳出額は、約24万8千円でした。

### 財源別歳入の構成



■「財源別歳入の構成」  
 歳入では、歳入総額の40%以上を占める県税が、納税義務者の増加や株価上昇基調により株式売却益が増加したことなどにより、個人県民税の増収などにより、6年連続で増加し、7,845億円となりました。  
 地方消費税の清算基準が見直されたことなどにより、埼玉県が受け取る地方消費税清算金が138億円増加し、2,192億円となりました。これは歳入総額の11.9%を占めました。

県債発行額は、臨時財政対策債の増加などにより2,523億円となり、歳入総額の13.7%を占めました。  
 なお、平成29年度末の県債残高3兆8,239億円のうち、臨時財政対策債などを除いた県で発行をコントロールできる県債残高は、2兆139億円、15年連続で減少しました。  
 財政の弾力性を示す経常収支比率は、前年度より0.1ポイント改善し、96.8%でした。

## 5か月も経ち、やっところさ 世界の2人に『彩の国功労賞』



【村岡桃佳選手】  
 埼玉県深谷市出身。  
 2018年平昌パラリンピック開幕式日本選手団旗手。アルペンスキー女子滑降(座位)で銀。スーパー大回転(座位)で銅。スーパー複合(座位)でも銅。日本アルペン勢で最多となる1大会で3個のメダル獲得。  
 大回転(座位)では金。これで1大会で金銀銅全メダル獲得を達成。最終日には、回転(座位)で銀。  
 冬季パラリンピック大会で日本選手最多1大会5個のメダル獲得となった。

【設楽悠太選手】  
 埼玉県寄居町出身。  
 2018年2月25日、東京マラソン2018で、3度目のマラソンとは言い2時間6分11秒をマークし、総合2位・日本人トップに入る。マラソン日本男子記録を、何と16年ぶりに5秒も更新した。  
 さらにマラソン日本記録更新の報奨金1億円と、マラソングランドチャンピオンシップ(2020年東京オリンピック男子マラソン選考会)の出場権も獲得した。  
 HONDA所属。

不毛なバトルで  
 これまで、上田知事の総合的な判断の下、決められてきた彩の国功労賞でしたが、自民が仕掛ける不毛なバトルで、今年度から県議会の同意が必要になりました。  
 ※この案に自民+3人賛成、他全員反対。  
 当初から予見されていましたが、県議会は年四議会(2月、6月、9月、12月)のため、即応性に欠ける結果となり、タイミングがズレまくった授賞式になりました。  
 7月19日、ようやく世界で活躍する2人の功績を讃えることができました。  
 県民はこのスピード感をどう思っているでしょうか。  
 そして2人は…

## 知事や部長へ要望書提出

7月5日「子供の健やかな成長に影響を及ぼす子ども虐待の防止に関する緊急要望書」  
 7月7日「性的少数者が抱える困難解消を求める要望書」  
 7月7日「米軍オスブレイの米軍所沢通信基地への飛来についての要望書」

●虐待防止体制強化を要望  
 目黒区で5歳の女児が虐待死する悲惨な事件が発生しました。これを受け、埼玉県は8月から児童相談所が把握した虐待情報全件を県警と共有することにしました。  
 要望書では「高い評価をしている」とした上で、民間団体とも連携して社会全体に向けた虐待防止の啓発促進や児童相談所・市町村などの相談体制の強化、虐待を受けた子供や親に対する心のケアなどを強く求めました。

●オスブレイ離発着に抗議  
 7月2日、米軍輸送機オスブレイが、埼玉県に対して事前説明なしで、所沢市の米軍所沢通信基地に離着陸しました。  
 埼玉県基地対策協議会では国に對し、オスブレイの運用は事前には十分な説明を行うよう要請していたのに、このような事態が起きたことは、誠に遺憾としました。また、同基地周辺には、市役所や文化施設などの公共施設や病院、小中高等学校、集合住宅が立ち並んでおり、万一事故が起きた際には、人命を含む甚大な被害が予測され、日米合同委員会合意に反するものと指摘しました。  
 なお、8月14日、全国知事会(上田清司会長)は全会一致で、1960年以来一度も改定されていない、日米地位協定の抜本的な見直しを、日米両政府に提言しました。

●自己否定社会からの脱却を  
 一人ひとりがあるがままの自分であることを否定されることなく、それぞれの多様な生き方を互いに認め合い、共に尊重しあう社会を創造することを、県に求めました。  
 いわゆるLGBTをはじめとする性的少数者が社会の各場面に於いて差別的取扱いを受けることがないよう、教育分野へのアプローチとして、教職員への啓発の徹底、小学校・中学校・高校・特別支援学校の児童、生徒への啓発の推進などについて、をはじめとする6点を積極的に取り組むべきと、要望しました。

